

2020年度

国 語

(解答はすべて解答欄に記入すること)

この試験問題は持ち帰ることができます。

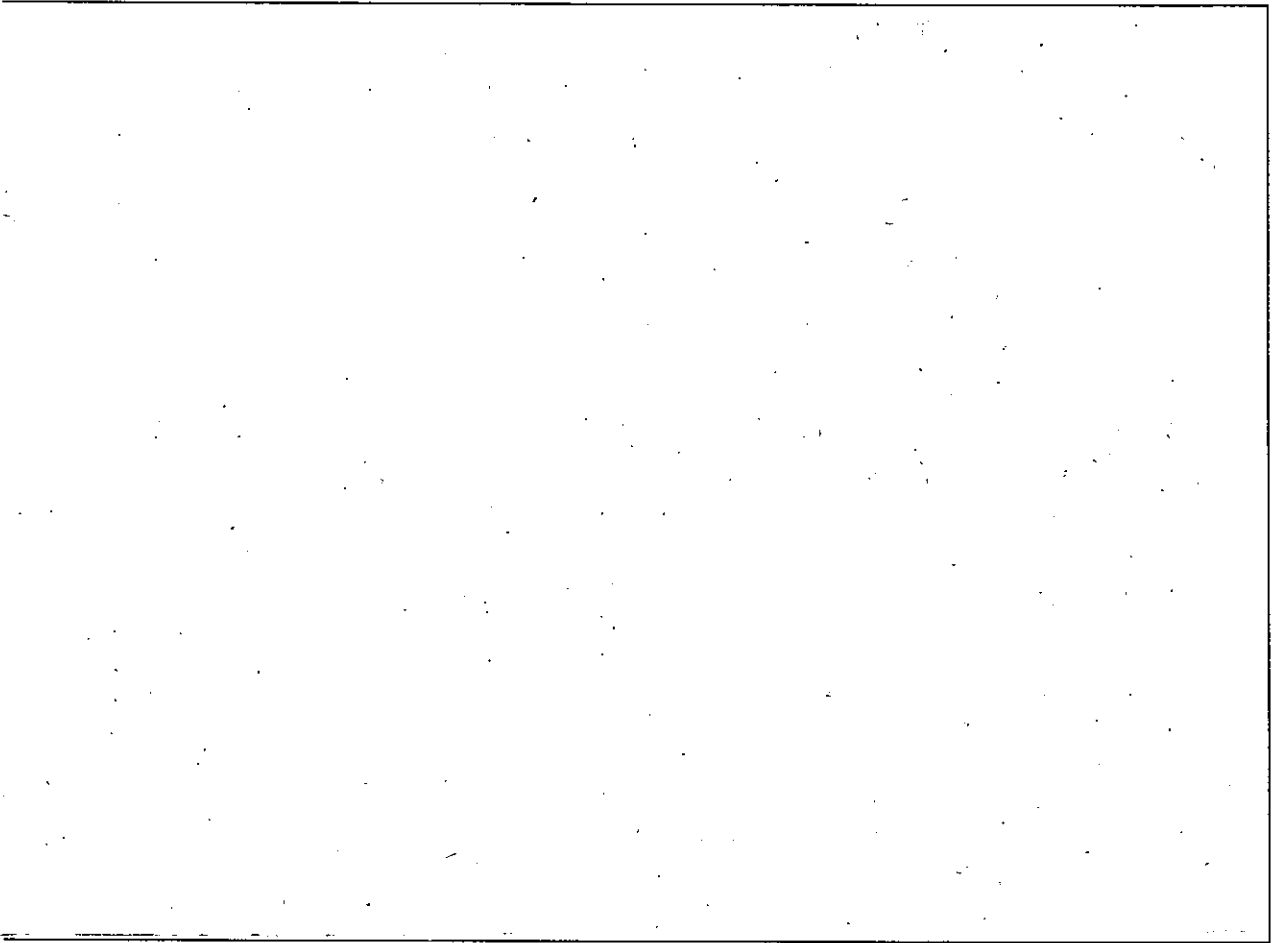
なお、本問題で利用した著作物は、著作権法第36条により、試験の目的上必要と認められる限度において複製したものです。

同目的以外の利用はできません。

(長野県教育委員会)

受験 番号					氏 名	
----------	--	--	--	--	--------	--

〔問二〕 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。なお、段落のはじめの□は形式段落の番号を示すために、出題の便宜上つけ加えた。



(煎本 孝「こころの人類学——人間性の起源を探る」)

(一) 線部 a、e について、漢字は読み方をひらがなで書きなさい。また、カタ

カナは漢字に直し、楷書で書きなさい。

〔a 食んでいる b 織 c 席卷 d セイサク e ヘイコウ〕

(二) 線部①「彼らが羊、ヤギ、牛、馬、ラクダ、ヤクなどの家畜の頭数がある

一定数以下に制限しようとする」と聞かされたことはなかった」の部分に、助詞と助

動詞はいくつあるか。それぞれ算用数字で書きなさい。

(三) 空欄 [あ] に共通して当てはまる最も適切な言葉を次から一つ選び、記号を書

きなさい。

〔ア 要するに イ それゆえ ウ おそらく エ もちろん〕

(四) 次の文は、どの段落の終わりにつながるか。段落番号を一つ書きなさい。

ここでは、生態学的には家畜の群れの頭数と移動とが制御されていない状態にある。

(五) 本文中の空欄 [い] に当てはまる適切な言葉を十五字程度で考えて書きな

さい。

(六) 本文中の空欄 [A]・[B] に当てはまる最も適切な言葉を、[A] は五

字、[B] は四字でそれぞれ本文中から抜き出して答えなさい。

(七) 本文中の空欄 [C]・[D] に当てはまる最も適切な言葉の組み合わせを次

から一つ選び、記号を書きなさい。

ア	C	膨張	・	D	消滅
イ	C	発展	・	D	隆盛
ウ	C	衰退	・	D	解放
エ	C	対立	・	D	統治

(八) 次の中から、本文の内容に当てはまらないものをすべて選び、ア、イ、ウの記号を書

きなさい。

ア 森林地帯での、狩猟や植物の採集と複合的に行われている遊牧の形態は、一般的にイメー

ジするモンゴル遊牧の典型である。

イ モンゴル国では現在、小さな谷の中で行われている比較的少数の家畜の放牧と、

大きな谷や草原で大規模に展開している遊牧の両方が存在している。

ウ モンゴルでは家畜を食肉として利用するよりも、その乳製品の利用が主である

ことなどから、家畜の頭数を増やす状況となった。

エ 現在、限定された空間においても家畜の頭数管理がされる遊牧が一切存在しない

ことから、遊牧は変化し続ける人間と自然との動態といえる。

オ 遊牧は、生態系の中で拡大を続ける方向に進んだ時、人間と自然との新たな関係を生

んでいるが、それは文明と呼んでもよいような関係である。

問二 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。なお、設問の都合上、一部表記を改めた部分、訓点を省いた部分がある。

(一) 線部①「無道人之短、無説己之长」の口語訳を、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。

(二) 線部②「謗議庸何傷」の口語訳を、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。

(三) 線部③「無使名過実」は、「なをしてじつにすぎしむることなかれ」と読む。この読みに従って、解答欄の白文に返り点と送り仮名を付けなさい。

(四) 線部④「無使名過実」の意味として最も適切なものを次のア～エから一つ選び記号を書きなさい。

- ア 実績以上の評判が立たないようにせよ。
- イ 実績を高めるため不断の努力を続けよ。
- ウ 世間の評判に惑わされないようにせよ。
- エ 他人に任せるのではなく己が実行せよ。

(五) 空欄△・空欄□に入る漢字の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び記号を書きなさい。なお、空欄△・空欄□の送り仮名は省いてある。

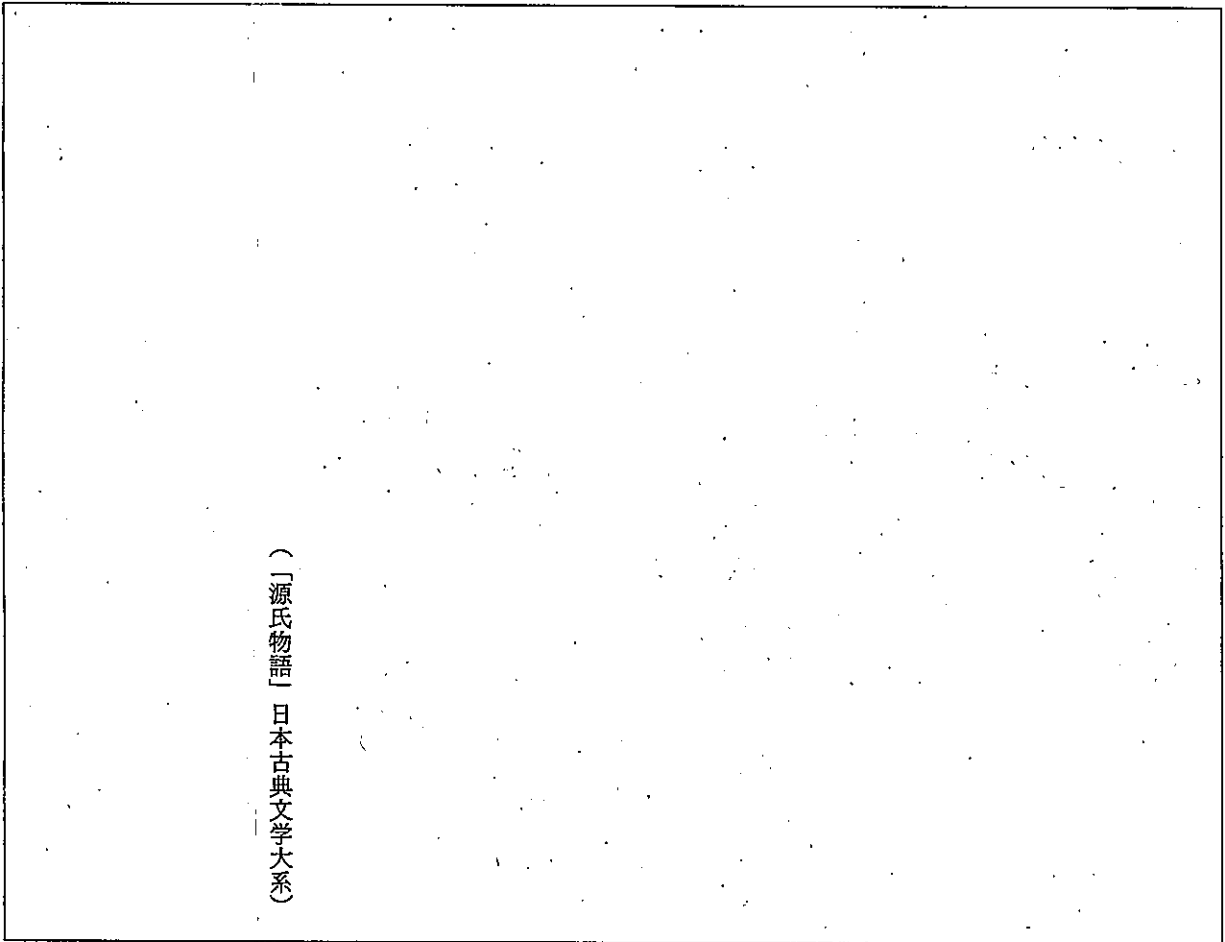
ア	戒	付
イ	止	向
ウ	慎	知
エ	省	洗

(六) 本文の内容と合っているものを次のア～エからすべて選び記号を書きなさい。

ア 人に恩を施したら早く忘れよ、だが人から恩を受けたら決して忘れるな。  
 イ 世間の名譽を得ようと思うならば、仁だけを心の支えとするべきである。  
 ウ 柔らかくしなやかなことがこの世を生きる道である、老子も剛強を戒めている。  
 エ 我が子を育てるのに最適な環境を選ぶことだ、そのためには引越しも厭わない。

(一 文選) 新釈漢文大系

〔問三〕 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。なお、設問の都合上、一部表記を改めた部分がある。



〔源氏物語〕 日本古典文学大系

(一) 線部 a「らるる」・線部 b「め」について、【例】にならって、文法上の説明を書きなさい。

【例】完了の助動詞「たり」の終止形

(二) 線部①「後ろめたきによりなん」の意味として、最も適切なものを次のア

〜エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

ア 心配なので

イ 気がとがめるので

ウ 秘密にしてはおけないので

エ 残された時間が少ないので

(三) 線部②「思ひ給へおきて侍る」を現代仮名遣いに直してすべてひらがなで書きなさい。

(四) 線部③「おのづから、人と思えて、やむことなき様なれど」を「ひとかどの」という語を用いて、二十五字以上三十五字以内で口語訳しなさい。

(五) 線部 A「ならひなば」、B「侍らず」、C「はぐくみ」、D「思う」の主語の組み合わせとして、最も適切なものを次のア〜エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

ア	A	光源氏	B	光源氏	C	大官	D	夕霧
イ	A	夕霧	B	光源氏	C	光源氏	D	光源氏
ウ	A	夕霧	B	大官	C	大官	D	光源氏
エ	A	光源氏	B	大官	C	光源氏	D	夕霧

(六) 「源氏物語」よりも後に成立した作品を次のア〜エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

- 〔ア 狭衣物語    イ 竹取物語    ウ 伊勢物語    エ 宇津保物語〕

〔問四〕「中学校学習指導要領」(平成二十九年三月) 第二章 各教科 第一節 国語

に即して次の問いに答えなさい。

(一) 次の文章は、第2学年で取り扱う「内容〔知識及び技能〕」の一部である。

空欄 **A** から **D** に入る適切な語句を、語群 a、b、c からそれぞれ一つずつ  
選び記号を書きなさい。

(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 言葉には、**A** 働きがあることに気付くこと。

イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解すること。

ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

エ **B** 語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

オ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や **C** など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。

カ **D** の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと。

語群

**A**

- a 考えたことや思ったことを表す
- b 相手の行動を促す
- c 相手とのつながりをつくる

**B**

- a 抽象的な概念を表す
- b 事象や行為、心情を表す
- c 理解したり表現したりするために必要な

**C**

- a 照応
- b 種類
- c 類別

**D**

- a 敬語
- b 表現技法
- c 慣用句や四字熟語

(二) 次の E、G は、第1学年から第3学年で取り扱う「内容〔思考力、判断力、表現力等〕」の「話すこと・聞くこと」の一部である。それぞれの空欄  に入る適切な語句を書きなさい。また、第2学年に示されているものを、E、G より一つ選び記号を書きなさい。なお、E、G は設問の便宜上付けた記号である。

E 場の  に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

F  や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

G 相手の  を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。